

2025 年 12 月 11 日  
株式会社竹中工務店

## CDP 気候変動の A リスト（最高評価）に 2 年続けて認定 気候変動への対応が総合的に評価される

竹中工務店（社長：佐々木正人）は、環境情報の開示を推進する国際的な非営利団体である CDP（本部：英国ロンドン）により、気候変動分野における企業の透明性とパフォーマンスに関するリーダーシップを評価され、CDP が毎年公開している「A リスト」に 2 年続けて選定されました。この評価は、当社が、包括的な情報開示を行い、環境ガバナンスの成熟度が高く、環境レジリエンスに向かって意義ある進捗があった世界的なリーダーの一社であることを意味しています。



### ■ CDP について

CDP は、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営し、毎年何千もの企業の評価を行っています。世界の主要企業に環境対策に関する取り組みや、その情報開示等について質問状を送付し、その回答に基づいて戦略や対応、情報開示等の取り組みについて、「A」、「A マイナス」から「D」、「D マイナス」までの 8 段階で評価し、優れた企業を「A リスト」として公表しています。2025 年は、22,100 社を超える企業が CDP のプラットフォームを通じて情報を開示し、そのうち 20,000 社がスコアを付与されました。

### ■ 竹中グループの取り組み

当社グループは、2023 年に策定した「環境戦略 2050」を 2025 年 4 月に改定し、脱炭素社会、資源循環社会、自然共生社会の実現に取り組んでいます。その中で、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、グループ全体を対象とした CO2 削減長期目標を設定しています。スコープ 1+2<sup>\*1</sup>については、2019 年比で 46.2%削減する目標において、2024 年 3 月に SBTi<sup>\*2</sup>の認定を取得しています。

当社は、2025 年 4 月に環境方針などの主な方針をグループ共通化し、環境戦略の進捗をグループ会社と連携して把握しています。情報を迅速に開示する体制づくりを進め、2025 年 4 月に TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に沿った内容を見直して「TCFD レポート 2025」として拡充をはかり、CDP の回答へ反映しました。

今後も、竹中グループ一丸となり脱炭素社会の実現に向けたさまざまな取り組みを推進し、気候変動への対応を加速して参ります。

- ※ 1 スコープ 1：直接排出（燃料等）、スコープ 2：エネルギー起源の間接排出（電力等）
- ※ 2 パリ協定が求める水準と整合した、科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標（Science Based Target）であることを認定する国際的なイニシアティブ